

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年10月28日～2028年5月8日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド (債券マザーファンド)	先進国通貨建ての債券
	ワールド好配当株式 マザーファンド (株式マザーファンド)	イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 海外株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ. 国内の債券
	先進国REIT マザーファンド (リート・マザーファンド)	イ. 先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。） ロ. 先進国のリート指数を対象指数としたETF ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ. 国内の債券
株式組入制限	債券マザーファンド	純資産総額の10%以下
	株式マザーファンド リート・マザーファンド	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ外国3資産 アロケーション・ファンド (部分為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版) 第11期

(決算日 2024年5月8日)

(作成対象期間 2023年5月9日～2024年5月8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券、株式およびリート（不動産投資信託）に分散投資し、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	不動産投信指数先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	込金騰落率					
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
7期末（2020年5月8日）	11,102	0	△ 6.0	74.7	0.5	19.2	0.9	602
8期末（2021年5月10日）	13,621	0	22.7	27.3	0.5	69.6	0.5	720
9期末（2022年5月9日）	13,839	0	1.6	52.7	0.1	42.7	0.8	712
10期末（2023年5月8日）	12,818	0	△ 7.4	43.4	0.5	53.2	0.7	663
11期末（2024年5月8日）	14,168	0	10.5	30.4	1.8	61.7	1.1	585

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

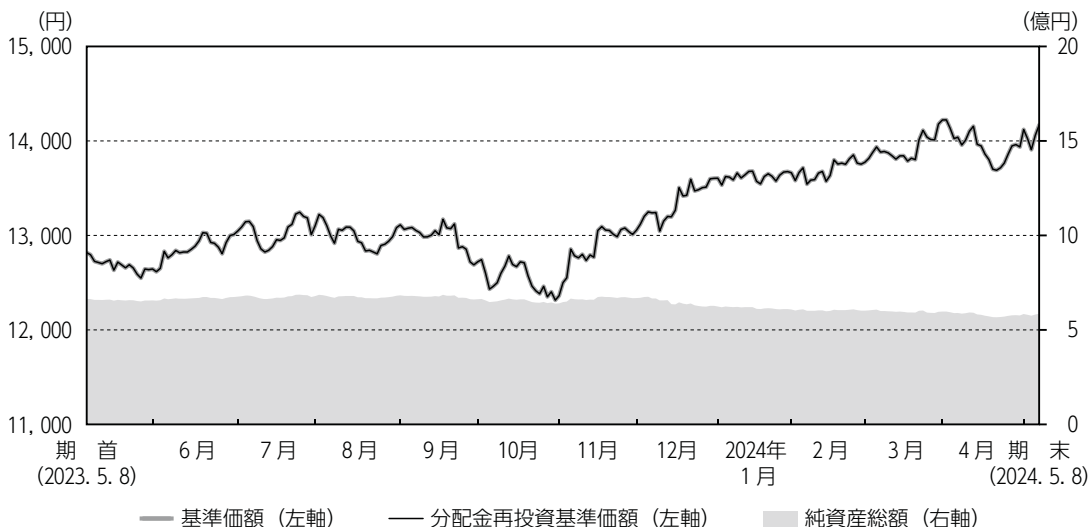
（注4）不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

（注5）当ファンドは、各資産クラスへの配分が可変的で適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：12,818円

期末：14,168円（分配金0円）

騰落率：10.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じて、各資産クラスに投資した結果、海外の株式市況およびリート市況が上昇したことに加え、為替相場が円安になったことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	不 動 産 投 信 指 数 先 物 比 率
	円	騰 落 率				
(期 首) 2023年 5月 8日	12,818	—	43.4	0.5	53.2	0.7
5月末	12,644	△ 1.4	46.2	0.7	52.5	0.7
6月末	13,047	1.8	37.3	0.6	58.1	0.8
7月末	13,101	2.2	32.1	0.2	63.5	0.7
8月末	13,111	2.3	37.7	0.0	58.9	0.7
9月末	12,721	△ 0.8	33.4	0.7	57.2	0.7
10月末	12,362	△ 3.6	43.4	0.7	51.9	0.7
11月末	13,056	1.9	37.9	0.8	57.1	0.8
12月末	13,606	6.1	26.9	0.9	67.0	1.0
2024年 1月末	13,664	6.6	29.3	0.2	67.4	1.0
2月末	13,775	7.5	27.8	0.3	67.9	1.2
3月末	14,222	11.0	27.6	2.3	66.1	1.1
4月末	14,120	10.2	30.5	1.8	62.0	1.1
(期 末) 2024年 5月 8日	14,168	10.5	30.4	1.8	61.7	1.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 5. 9 ~ 2024. 5. 8）

海外債券市況

海外債券市場では、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が後退したことや、経済指標が上振れたことなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落し、金利は上昇基調となりました。その後も、米国を中心に景気の底堅さが確認されたことや、米国における国債の増発に伴う需給の悪化などが嫌気され、米国をはじめグローバルで金利は上昇しました。しかし2023年11月以降は、米国情債の過度な需給悪化懸念が後退したことや、米国の経済指標が市場予想を軒並み下回ったことなどから、金利低下（債券価格は上昇）圧力が強まりました。当作成期末にかけては、米国を中心に経済指標が市場予想を上振れたことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官による早期の利下げをけん制する発言を受け、金利は上昇しました。

海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方で、予想を上回る米国企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬からは、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや米国債務上限問題の解決などが好感され、上昇しました。8月以降は、米国情債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げなどによる長期金利の大幅な上昇、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、FRB議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、欧米でインフレ率の鈍化傾向が継続したことやAI関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、3月下旬にかけて上昇しました。4月に入ると、中東情勢への懸念などを受けて下落しましたが、当作成期末にかけては再び上昇しました。

海外リート市況

海外リート市況は、当作成期を通じて見ると上昇しました。

海外リート市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念から下落して始まりました。2023年7月に入ると、米国におけるインフレ指標の鈍化や長期金利の低下が好感され上昇に転じました。8月以降は、米国情債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げなどによる長期金利の大幅な上昇、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気さ

れ、10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B 議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年に入ると、米国を中心とした金利上昇から再度下落に転じ、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇する中、上昇して始まりました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、下落（円高）しましたが、同月半ば以降は、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識され、11月上旬にかけて上昇しました。11月半ばに入ると、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて下落に転じましたが、2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、当作成期末にかけて円安基調が継続しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和アセットマネジメントが判断する局面では、債券の組入比率を高めます。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

※債券マザーファンド：ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

株式マザーファンド：ワールド好配当株式マザーファンド

リート・マザーファンド：先進国REITマザーファンド

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ワールド好配当株式マザーファンド

強弱材料の綱引きによりレンジ内での推移を予想します。注目点は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）とECB（欧州中央銀行）理事会です。FOMC、ECB共に、今後の利上げ停止の可能性が示唆されるか、あるいは今後の利上げ停止時期について明確な示唆がなされるかがポイントです。利上げ停止に関して確信を持てる状況になれば、株式市場は好感することが期待されます。

当面の間、ETF（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

■先進国REITマザーファンド

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に、先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。なお、運用の効率化を図るため、ETF（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

ポートフォリオについて

（2023. 5. 9 ~ 2024. 5. 8）

■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更しました。証券市場のリスクが高まっていると大和アセットマネジメントが判断する局面では、債券の組入比率を高めま

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

した。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内としました。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等としました。

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ワールド好配当株式マザーファンド

ファンド規模が一定水準に達するまでETF（上場投資信託証券）での運用が合理的であると考え、流動性や配当利回りなどを勘案し、引き続きISHARES INTERNATIONAL SELECTとVANGUARD HIGH DVD YIELD ETFの組み入れを継続しました。投資証券組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

■先進国REITマザーファンド

海外リートの組入比率（ETF（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を含む）は、当作成期を通じて原則として99%台で運用を行いました。

海外リートポートフォリオにつきましては、S&P先進国REIT指数（除く日本）採用銘柄の中から流動性の高い海外リートを中心に通常50銘柄程度で組成し、結果として時価総額の大きい海外リートを主としたポートフォリオとなりました。また、運用の効率化を図るため、ETFおよび不動産投信指数先物取引も利用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年5月9日 ～2024年5月8日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,167

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のり

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

スクが高まっていると大和アセットマネジメントが判断する局面では、債券の組入比率を高めません。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ワールド好配当株式マザーファンド

米国では利下げ期待が後退していますが、想定以上に米国経済が強いことを反映している側面もあり、株式市場にとって必ずしもネガティブではないと考えます。好調な景気や半導体関連企業の業績期待もあり、基調としては堅調な株価推移を想定します。欧州については、2024年6月の利下げ開始の可能性が高く、早期利下げへの期待は欧州株にとって追い風ですが、ファンダメンタルズの回復が遅れ気味である点は相場の重しとなりそうです。

当面の間、ETF（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

■先進国REITマザーファンド

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、円ベース）を参考に、先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。また、運用の効率化を図るため、ETF（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 9~2024. 5. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	196円	1.485%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,227円です。
（投 信 会 社）	(95)	(0.715)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(95)	(0.715)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(7)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.053	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.001)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0.002)	
（投資証券）	(7)	(0.050)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.003	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
（投資証券）	(0)	(0.003)	
そ の 他 費 用	38	0.284	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(10)	(0.076)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(26)	(0.200)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	241	1.826	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

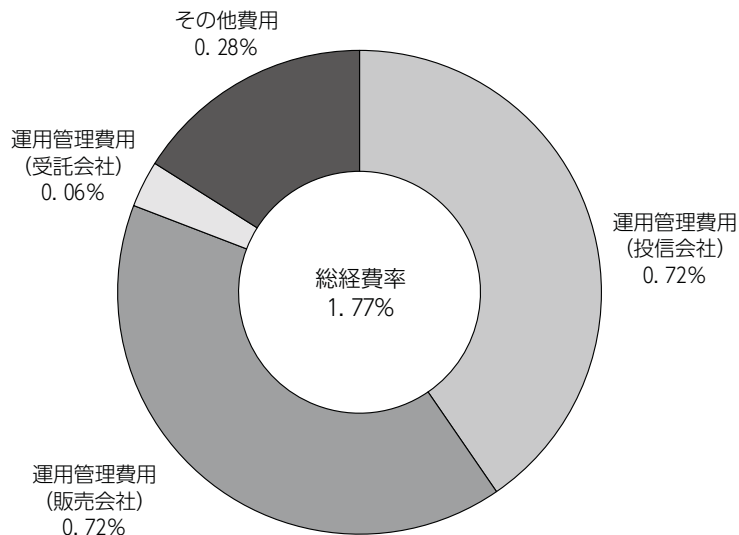
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド好配当株式 マザーファンド	50,105	108,173	64,680	143,663
先進国REIT マザーファンド	43,291	97,404	57,180	130,065
ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド	172,511	172,918	250,419	254,817

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド好配当株式 マザーファンド	88,989	74,414	191,758
先進国REIT マザーファンド	87,501	73,612	189,492
ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド	277,056	199,148	199,128

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド好配当株式マザーファンド	191,758	32.5
先進国REITマザーファンド	189,492	32.1
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり） マザーファンド	199,128	33.7
コール・ローン等、その他	10,379	1.7
投資信託財産総額	590,759	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=154.95円、1カナダ・ドル=112.81円、1オーストラリア・ドル=102.03円、1香港・ドル=19.81円、1シンガポール・ドル=114.35円、1イギリス・ポンド=193.66円、1スウェーデン・クローネ=14.24円、1メキシコ・ペソ=9.164円、1ユーロ=166.56円です。

(注3) ワールド好配当株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(192,142千円)の投資信託財産総額(192,639千円)に対する比率は、99.7%です。
先進国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,329,413千円)の投資信託財産総額(1,343,433千円)に対する比率は、99.0%です。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(338,216千円)の投資信託財産総額(362,952千円)に対する比率は、93.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	590,759,889円
コール・ローン等	9,432,742
ワールド好配当株式 マザーファンド (評価額)	191,758,926
先進国REIT マザーファンド (評価額)	189,492,659
ダイワ先進国債券（為替ヘッジ あり）マザーファンド (評価額)	199,128,562
未収入金	947,000
(B) 負債	5,317,110
未払解約金	749,378
未払信託報酬	4,542,591
その他未払費用	25,141
(C) 純資産総額 (A - B)	585,442,779
元本	413,222,079
次期繰越損益金	172,220,700
(D) 受益権総口数	413,222,079口
1万口当り基準価額 (C / D)	14,168円

* 期首における元本額は517,685,267円、当作成期間中における追加設定元本額は19,307,236円、同解約元本額は123,770,424円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,168円です。

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自2023年5月9日 至2024年5月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 673円
受取利息	1,325
支払利息	△ 1,998
(B) 有価証券売買損益	65,147,822
売買益	82,481,003
売買損	△ 17,333,181
(C) 信託報酬等	△ 9,572,789
(D) 当期損益金 (A + B + C)	55,574,360
(E) 前期繰越損益金	44,811,972
(F) 追加信託差損益金	71,834,368
(配当等相当額)	(50,970,425)
(売買損益相当額)	(20,863,943)
(G) 合計 (D + E + F)	172,220,700
次期繰越損益金 (G)	172,220,700
追加信託差損益金	71,834,368
(配当等相当額)	(50,970,425)
(売買損益相当額)	(20,863,943)
分配準備積立金	100,387,005
繰越損益金	△ 673

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：34,507円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	16,712,965
(c) 収益調整金	71,834,368
(d) 分配準備積立金	83,674,040
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	172,221,373
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	172,221,373
(h) 受益権総口数	413,222,079口

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド 運用報告書 第11期（決算日 2024年5月8日）

（作成対象期間 2023年5月9日～2024年5月8日）

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

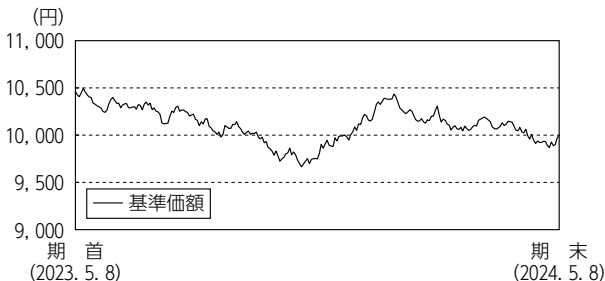
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) (参考指数)		公社債 組入 比率	債券 先物 比率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %		
(期首)2023年5月8日	10,464	—	10,389	—	99.3	—
5月末	10,331	△ 1.3	10,241	△ 1.4	103.3	—
6月末	10,271	△ 1.8	10,174	△ 2.1	96.1	—
7月末	10,213	△ 2.4	10,125	△ 2.5	94.2	—
8月末	10,111	△ 3.4	10,044	△ 3.3	96.5	—
9月末	9,786	△ 6.5	9,772	△ 5.9	96.8	—
10月末	9,751	△ 6.8	9,722	△ 6.4	95.8	—
11月末	10,087	△ 3.6	10,006	△ 3.7	95.3	—
12月末	10,405	△ 0.6	10,281	△ 1.0	90.9	—
2024年1月末	10,201	△ 2.5	10,105	△ 2.7	98.4	—
2月末	10,061	△ 3.9	9,995	△ 3.8	94.9	—
3月末	10,141	△ 3.1	10,056	△ 3.2	94.7	—
4月末	9,927	△ 5.1	9,863	△ 5.1	90.1	—
(期末)2024年5月8日	9,999	△ 4.4	9,936	△ 4.4	89.3	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,464円 期末：9,999円 騰落率：△4.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、債券の価格下落や為替ヘッジコストがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○海外債券市況

海外債券市場では、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が後退したことや、経済指標が上振れたことなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落し、金利は上昇基調となりました。その後も、米国を中心に景気の底堅さが確認されたことや、米国における国債の増発に伴う需給の悪化などが嫌気され、米国をはじめグローバルで金利は上昇しました。しかし2023年11月以降は、米国国債の過度な需給悪化懸念が後退したことや、米国の経済指標が市場予想を軒並み下回ったことなどから、金利低下（債券価格は上昇）圧力が強まりました。当作成期末にかけては、米国を中心に経済指標が市場予想を上振れたことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官による早期の利下げをけん制する発言を受け、金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■1万口当りの費用の詳細

項目	当	期
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用 (保管費用)		8 (6)
(その他)		(2)
合 計		8

(注1) 費用の項目および算法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

		買付額	売付額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル 482	千アメリカ・ドル 977 (—)
	カナダ	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 67 (—)
	イギリス	千イギリス・ポンド 122	千イギリス・ポンド 215 (—)
	スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 355	千スウェーデン・クローネ 94 (—)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 2,132 (—)
	ユーロ (アイルランド)	千ユーロ —	千ユーロ 59 (—)
	ユーロ (ベルギー)	千ユーロ —	千ユーロ 29 (—)

		買付額	売付額	
外 国	ユーロ (フランス)	千ユーロ —	千ユーロ 295 (—)	
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ —	千ユーロ 20 (—)	
	ユーロ (スペイン)	千ユーロ 47	千ユーロ 70 (—)	
	ユーロ (イタリア)	千ユーロ 333	千ユーロ 564 (—)	
	ユーロ (その他)	千ユーロ 141	千ユーロ — (—)	
	ユーロ (ユーロ通貨計)	国債証券	千ユーロ 380	千ユーロ 1,040 (—)
		地方債証券	千ユーロ 141	千ユーロ — (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 3.375% 2033/5/15	29,830	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.625% 2025/4/15	33,496
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 2.8% 2028/12/1	26,722	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 4.4% 2033/5/1	32,334
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 4.4% 2033/5/1	26,211	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 3.375% 2033/5/15	30,387
PROVINCE OF QUEBEC CANADA (カナダ) 0.25% 2031/5/5	21,271	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.875% 2032/5/15	26,130
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 1.875% 2051/11/15	19,095	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 2.8% 2028/12/1	23,512
UNITED KINGDOM GILT (イギリス) 3.25% 2033/1/31	15,593	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 2.45% 2023/10/1	20,430
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.625% 2025/4/15	13,567	Mexican Bonos (メキシコ) 7.5% 2027/6/3	18,151
SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 1.4% 2028/4/30	7,556	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス) 1% 2027/5/25	17,966
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 5% 2025/9/30	7,448	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス) 0.25% 2026/11/25	13,321
United Kingdom Gilt (イギリス) 0.375% 2030/10/22	6,777	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 0.6% 2031/8/1	12,990

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 631	千アメリカ・ドル 410	千円 63,625	% 17.7	% —	% 17.7	% —	% —
カナダ	千カナダ・ドル 76	千カナダ・ドル 68	7,685	2.1	—	1.4	0.7	—
イギリス	千イギリス・ポンド 190	千イギリス・ポンド 164	31,826	8.9	—	8.9	—	—
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 1,390	千スウェーデン・クローネ 1,357	19,337	5.4	—	1.5	—	3.9
メキシコ	千メキシコ・ペソ 2,500	千メキシコ・ペソ 2,309	21,161	5.9	—	—	—	5.9
ユーロ (フランス)	千ユーロ 124	千ユーロ 117	19,553	5.4	—	—	5.4	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 87	千ユーロ 94	15,704	4.4	—	4.4	—	—
ユーロ (スペイン)	千ユーロ 367	千ユーロ 349	58,189	16.2	—	—	16.2	—
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 354	千ユーロ 356	59,362	16.5	—	5.4	11.1	—
ユーロ (その他)	千ユーロ 180	千ユーロ 148	24,746	6.9	—	6.9	—	—
ユーロ (小計)	1,112	1,066	177,556	49.4	—	16.7	32.7	—
合 計	—	—	321,193	89.3	—	46.1	33.4	9.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客官物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円		
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.0000	千アメリカ・ドル 196	千アメリカ・ドル 151	23,404	2045/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	1.8750	340	194	30,202	2051/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	2.0000	95	64	10,019	2041/11/15
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		631	410	63,625	
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.0000	千カナダ・ドル 16	千カナダ・ドル 11	1,332	2051/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.4500	16	13	1,553	2045/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	2.9000	24	23	2,595	2028/06/02
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	3.6500	20	19	2,203	2033/06/15
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		76	68	7,685	

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
イギリス		United Kingdom Gilt	国債証券	0.3750	千イギリス・ポンド 100	千イギリス・ポンド 79	千円 15,440	2030/10/22
		UNITED KINGDOM GILT	国債証券	3.2500	90	84	16,386	2033/01/31
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄			190	164	31,826	
スウェーデン		SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	0.7500	千スウェーデン・クローネ 100	千スウェーデン・クローネ 92	1,311	2029/11/12
		SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	300	286	4,081	2033/11/11
		Kommuninvest I Sverige AB	特殊債券	1.0000	990	979	13,944	2024/10/02
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			1,390	1,357	19,337	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	5.7500	千メキシコ・ペソ 2,500	千メキシコ・ペソ 2,309	21,161	2026/03/05
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄			2,500	2,309	21,161	
ユーロ(フランス)		FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	千ユーロ 124	千ユーロ 117	19,553	2027/05/25
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄			124	117	19,553	
ユーロ(ドイツ)		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.7500	千ユーロ 57	千ユーロ 69	11,533	2034/07/04
		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	—	30	25	4,170	2032/02/15
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			87	94	15,704	
ユーロ(スペイン)		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.5000	千ユーロ 195	千ユーロ 186	31,138	2027/04/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.4000	172	162	27,051	2028/04/30
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			367	349	58,189	
ユーロ(イタリア)		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8000	千ユーロ 244	千ユーロ 239	39,917	2028/12/01
		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.4000	110	116	19,445	2033/05/01
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			354	356	59,362	
ユーロ(その他)		PROVINCE OF QUEBEC CANADA	地方債証券	0.2500	千ユーロ 180	千ユーロ 148	24,746	2031/05/05
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄			180	148	24,746	
通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄			1,112	1,066	177,556	
合 計	銘柄数 金 額	21銘柄					321,193	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

■投資信託財産の構成

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 321,193	% 88.5
コール・ローン等、その他	41,758	11.5
投資信託財産総額	362,952	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=154.95円、1カナダ・ドル=112.81円、1イギリス・ポンド=193.66円、1スウェーデン・クローネ=14.24円、1メキシコ・ペソ=9.164円、1ユーロ=166.56円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（338,216千円）の投資信託財産総額（362,952千円）に対する比率は、93.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	690,817,746円
コール・ローン等	38,978,051
公社債（評価額）	321,193,593
未収入金	327,865,410
未取利息	2,738,389
前払費用	42,303
(B) 負債	331,211,386
未払金	331,211,386
(C) 純資産総額（A－B）	359,606,360
元本	359,658,685
次期繰越損益金	△ 52,325
(D) 受益権総口数	359,658,685口
1万口当り基準価額（C/D）	9,999円

* 期首における元本額は452,027,790円、当作成期間中における追加設定元本額は177,457,588円、同解約元本額は269,826,693円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用） 48,259,620円
 ダイワ外国3資産バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり） 112,250,588円
 ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり） 199,148,477円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,999円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は52,325円です。

■損益の状況

当期 自2023年5月9日 至2024年5月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	11,280,070円
受取利息	11,282,183
支払利息	△ 2,113
(B) 有価証券売買損益	△ 27,612,545
売買益	106,224,701
売買損	△ 133,837,246
(C) その他費用	△ 335,539
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 16,668,014
(E) 前期繰越損益金	20,989,584
(F) 解約差損益金	△ 4,860,307
(G) 追加信託差損益金	486,412
(H) 合計（D+E+F+G）	△ 52,325
次期繰越損益金（H）	△ 52,325

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ワールド好配当株式マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2024年5月8日)

(作成対象期間 2023年5月9日～2024年5月8日)

ワールド好配当株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ） ロ. 海外株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ. 国内の債券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

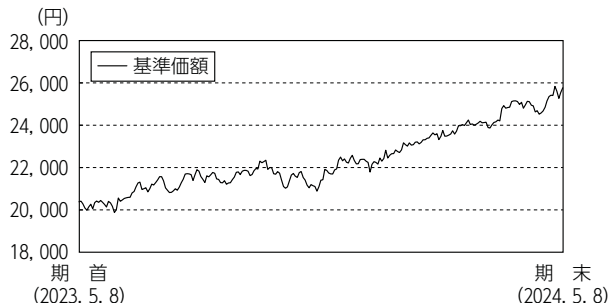
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ワールド好配当株式マザーファンド

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		投資証券 組入比率
	円	%	騰落率	%	
(期首) 2023年5月8日	20,370	—	31,229	—	97.6
5月末	20,154	△ 1.1	32,385	3.7	97.9
6月末	21,280	4.5	34,942	11.9	97.5
7月末	21,657	6.3	35,472	13.6	98.3
8月末	21,787	7.0	36,074	15.5	98.5
9月末	21,801	7.0	35,194	12.7	97.5
10月末	21,092	3.5	34,013	8.9	98.5
11月末	22,170	8.8	36,664	17.4	98.1
12月末	22,701	11.4	37,347	19.6	98.4
2024年1月末	23,597	15.8	39,579	26.7	97.7
2月末	24,001	17.8	41,492	32.9	98.9
3月末	25,146	23.4	43,226	38.4	98.7
4月末	25,837	26.8	43,787	40.2	99.0
(期末) 2024年5月8日	25,769	26.5	43,909	40.6	98.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。

上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
※参考指数を「MSCIコクサイ指数 (配当込み、円換算)」から「MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,370円 期末：25,769円 騰落率：26.5%

【基準価額の主な変動要因】

海外のETF (上場投資信託証券) を通じて株式に投資した結果、海外株式市況が上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇 (円安) したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方で、予想を上回る米国企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬からは、AI (人工知能) 関連の半導体企業の強気見通しや米国債務上限問題の解決などが好感され、上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やFRB (米国連邦準備制度理事会) の政策金利見通しの引き上げなどによる長期金利の大幅な上昇、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、FRB議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、欧米でインフレ率の鈍化傾向が継続したことやAI関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、3月下旬にかけて上昇しました。4月に入ると、中東情勢への懸念などをを受けて下落しましたが、当作成期末にかけては再び上昇しました。

○ 為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇する中、上昇して始まりました。2023年6月に入ると、FRB (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見直しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、下落 (円高) しましたが、同月半ば以降は、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識され、11月上旬にかけて上昇しました。11月半ばに入ると、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて下落に転じましたが、2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、当作成期末にかけて円安基調が継続しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

強弱材料の綱引きによりレンジ内での推移を予想します。注目点は、FOMC (米国連邦公開市場委員会) とECB (欧州中央銀行) 理事会です。FOMC、ECB共に、今後の利上げ停止の可能性が示唆されるか、あるいは今後の利上げ停止時期について明確な示唆がなされるかがポイントです。利上げ停止に関して確信を持っている状況になれば、株式市場は好感することが期待されます。

当面の間、ETF (上場投資信託証券) での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

ファンド規模が一定水準に達するまでETF (上場投資信託証券) での運用が合理的であると考え、流動性や配当利回りなどを勘案し、引き続きISHARES INTERNATIONAL SELECT とVANGUARD HIGH

DVD YIELD ETF の組み入れを継続しました。投資証券組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

米国では利下げ期待が後退していますが、想定以上に米国経済が強いことを反映している側面もあり、株式市場にとって必ずしもネガティブではないと考えます。好調な景気や半導体関連企業の業績期待もあり、基調としては堅調な株価推移を想定します。欧州については、2024年6月の利下げ開始の可能性が高く、早期利下げへの期待は欧州株にとって追い風ですが、ファンダメンタルズの回復が遅れ気味である点は相場の重しとなりそうです。

当面の間、ETF（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

■売買および取引の状況
投資証券

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF	2.46	260	3.275	353
	ISHARES INTERNATIONAL SELECT	16.48	439	19.03	505

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国投資証券

銘 柄	期 首 口 数	当 期 末		
		口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF	4.955	4.14	489	75,830
ISHARES INTERNATIONAL SELECT	28.08	25.53	733	113,592
合 計	口数、金額 銘柄数 < 比率 >	33.035 2銘柄	29.67 2銘柄	1,222 <98.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資証券)	30円 (30)
有価証券取引税 (投資証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	151 (16) (134)
合 計	181

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■投資信託財産の構成

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 189,423	% 98.3
コール・ローン等、その他	3,216	1.7
投資信託財産総額	192,639	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.95円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(192,142千円)の投資信託財産総額(192,639千円)に対する比率は、99.7%です。

ワールド好配当株式マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	193,533,418円
コール・ローン等	3,209,623
投資証券（評価額）	189,423,795
未収入金	900,000
(B) 負債	1,776,460
未払金	893,460
未払解約金	883,000
(C) 純資産総額（A－B）	191,756,958
元本	74,414,578
次期繰越損益金	117,342,380
(D) 受益権総口数	74,414,578口
1万口当り基準価額（C／D）	25,769円

* 期首における元本額は88,989,804円、当作成期間中における追加設定元本額は50,105,366円、同解約元本額は64,680,592円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）74,414,578円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は25,769円です。

■損益の状況

当期 自2023年5月9日 至2024年5月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,175,243円
受取配当金	10,030,756
受取利息	145,180
支払利息	△ 693
(B) 有価証券売買損益	37,144,034
売買益	41,209,926
売買損	△ 4,065,892
(C) その他費用	△ 1,345,778
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	45,973,499
(E) 前期繰越損益金	92,283,655
(F) 解約差損益金	△ 78,982,408
(G) 追加信託差損益金	58,067,634
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	117,342,380
次期繰越損益金（H）	117,342,380

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

先進国REITマザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2024年5月8日）

（作成対象期間 2023年5月9日～2024年5月8日）

先進国REITマザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。） ロ. 先進国のリート指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ. 国内の債券
株式組入制限	無制限

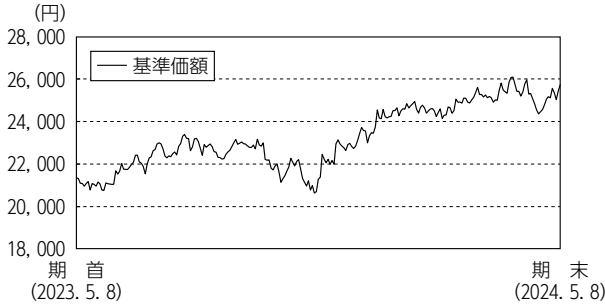
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円ベース)		投資信託受益証券組入比率		不動産投信指数先物比率	
	円	騰落率	参考指数	騰落率	%	%	%	%
(期首) 2023年5月8日	21,350	—	21,634	—	1.8	94.1	2.7	
5月末	21,052	△ 1.4	21,416	△ 1.0	2.4	94.9	2.7	
6月末	22,621	6.0	22,896	5.8	2.0	95.4	2.5	
7月末	22,807	6.8	22,964	6.2	0.5	97.1	2.3	
8月末	23,159	8.5	23,361	8.0	0.1	97.6	2.3	
9月末	21,899	2.6	22,035	1.9	2.2	95.3	2.4	
10月末	20,695	△ 3.1	20,714	△ 4.3	2.7	94.5	2.8	
11月末	22,844	7.0	22,988	6.3	2.8	94.4	2.8	
12月末	24,655	15.5	24,626	13.8	2.6	94.5	2.8	
2024年1月末	24,506	14.8	24,600	13.7	0.6	96.6	2.8	
2月末	25,033	17.3	25,007	15.6	0.8	95.8	3.5	
3月末	26,089	22.2	25,922	19.8	6.5	90.4	3.1	
4月末	25,572	19.8	25,425	17.5	5.6	90.8	3.5	
(期末) 2024年5月8日	25,742	20.6	25,572	18.2	5.7	90.8	3.5	

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、円ベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 不動産投信指数先物比率は買建比率 - 売建比率です。
※参考指数を「S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、配当込み、円ベース)」から「S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、円ベース)」に変更しました。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：21,350円 期末：25,742円 騰落率：20.6%

【基準価額の主な変動要因】

日本を除く先進国 R E I T にほぼ100%投資した結果、海外リート市況の上昇および為替相場が円安に動いたことから、参考指数 (S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、円ベース)) の上昇と同様に、当ファンドの基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 海外リート市況

海外リート市況は、当作成期を通じて見ると上昇しました。

海外リート市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念から下落して始まり、2023年7月に入ると、米国におけるインフレ指標の鈍化や長期金利の低下が好感され上昇に転じました。8月以降は、米国国債の増発や F R B (米国連邦準備制度理事会) の政策金利見通しの引き上げなどによる長期金利の大幅な上昇、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B 議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年に入ると、米国を中心とした金利上昇から再度下落に転じ、当作成期末を迎えました。

○ 為替相場

為替相場は対円で上昇 (円安) しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇する中、上昇して始まり、2023年6月に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見直しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、下落 (円高) しましたが、同月半ば以降は、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識され、11月上旬にかけて上昇しました。11月半ばに入ると、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて下落に転じましたが、2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、当作成期末にかけて円安基調が継続しました。

その他の通貨も米ドル円に連れる展開となり、対円で堅調な推移となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、配当込み、円ベース) を参考に、先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。なお、運用の効率化を図るため、E T F (上場投資信託証券) および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

◆ ポートフォリオについて

海外リートの組入比率 (E T F (上場投資信託証券) および不動産投信指数先物取引を含む) は、当作成期を通じて原則として99%台で運用を行いました。

海外リートポートフォリオにつきましては、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本) 採用銘柄の中から流動性の高い海外リートを中心に通常50銘柄程度で組成し、結果として時価総額の大きい海外リートを主としたポートフォリオとなりました。また、運用の効率化を図るため、E T F および不動産投信指数先物取引も利用しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
 当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、円ベース）を参考に、先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。また、運用の効率化を図るため、ETF（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション)	8円 (1)
(投資信託受益証券)	(1)
(投資証券)	(5)
有価証券取引税 (投資信託受益証券)	3 (0)
(投資証券)	(3)
その他費用 (保管費用)	27 (23)
(その他)	(4)
合 計	37

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)投資信託受益証券

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD REAL ESTATE ETF	32.49	2,638	29.149	2,381

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資証券

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	AVALONBAY COMMUNITIES INC	0.464	82	0.921	160
	SIMON PROPERTY GROUP INC	1.142	137	2.264	290
	BOSTON PROPERTIES INC	0.852	48	1.688	102
	VORNADO REALTY TRUST	1.367	28	2.71	65
	EQUITY RESIDENTIAL	1.148	69	2.278	136
	EQUINIX INC	0.268	211	0.531	419
	HOST HOTELS & RESORTS INC	3.594	61	7.126	129

先進国REITマザーファンド

銘柄		買付		売付	
		□ 数	金額	□ 数	金額
		千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	KIMCO REALTY CORP	2.919	56	5.788	109
	GAMING AND LEISURE PROPERTIE	1.288	59	2.554	115
	PARK HOTELS & RESORTS INC	2.349	32	4.657	66
	INVITATION HOMES INC	2.217	75	4.396	143
	VICI PROPERTIES INC	2.963	88	5.875	172
	VENTAS INC	1.551	71	3.075	136
	NET LEASE OFFICE PROPERTIES	—	—	0.166	4
	IRON MOUNTAIN INC	(0.166)	(0)	2.388	159
	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	1.204	73	0.824	28
	SUN COMMUNITIES INC	(△ 1.306)	53	0.861	103
	PROLOGIS INC	0.434	55	5.438	645
外国	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	2.743	319	0.802	91
	CAMDEN PROPERTY TRUST	0.405	45	0.861	82
	ESSEX PROPERTY TRUST INC	0.434	42	0.481	110
	WELLTOWER INC	0.243	53	2.876	248
	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	1.451	124	4.552	81
	MID-AMERICA APARTMENT COMM	2.296	42	0.902	116
	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	0.455	61	1.507	100
	NATIONAL RETAIL PROPERTIES	0.76	52	2.463	96
	REALTY INCOME CORP	1.242	50	8.417	450
	PUBLIC STORAGE	(2.452)	139	0.851	229
	UDR INC	(3.557)	116	2.644	95
	WP CAREY INC	0.429	48	1.648	97

銘柄		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
外国	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	千口 1.629	千アメリカ・ドル 51	千口 3.23	千アメリカ・ドル 96
	DIGITAL REALTY TRUST INC	0.826	104	1.637	221
	EXTRA SPACE STORAGE INC	0.477	64	0.946	125
	GLADSTONE COMMERCIAL CORP	2.3	28	4.562	57
	MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	3.193	21	6.33	25
	DOUGLAS EMMETT INC	1.971	24	3.907	49
	カナダ	千口	千カナダ・ドル	千口	千カナダ・ドル
	CHOICE PROPERTIES REIT	10.6	142	21.669	291
	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
	DEXUS/AU	9.3	67	18.997	142
	SCENTRE GROUP	25.12	65	51.33	150
	MIRVAC GROUP	21.47	44	43.876	93
	GOODMAN GROUP	6.12	134	12.509	318
	香港	千口	千香港・ドル	千口	千香港・ドル
	LINK REIT	2.3	98	6.3	248
	シンガポール	千口	千シンガポール・ドル	千口	千シンガポール・ドル
	CAPITALAND ASCENDAS REIT	24.6	69 (△ 2)	50	137
	CAPITALAND INTEGRATED COMMER	42.2	80 (△ 0)	85.9	164
	イギリス	千口	千イギリス・ポンド	千口	千イギリス・ポンド
	LAND SECURITIES GROUP PLC	5.88	37	12.108	75
	SEGRO PLC	6	47	12.351	99
	TRITAX BIG BOX REIT PLC	22.25	32	45.837	69

先進国REITマザーファンド

銘柄		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
外国	ユーロ(ベルギー)	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
	COFINIMMO	0.31	20	0.692	43
	ユーロ(フランス)	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
	GECINA SA	0.87	85	1.942	186

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(3)先物取引の種類別取引状況

(2023年5月9日から2024年5月8日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
不動産投信指数 先物取引	267	270	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国投資信託受益証券

銘柄	期 首	当 期 末			
		□ 数	□ 数	評 価 額	
	外貨建金額			邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
VANGUARD REAL ESTATE ETF	2.679	6.02	494	76,620	
合 計	□ 数、金額	2.679	6.02	494	76,620
	銘柄数 < 比率 >	1銘柄	1銘柄		<5.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資証券

銘柄	期首		当期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
AVALONBAY COMMUNITIES INC	1.49	1.033	202	31,354	
SIMON PROPERTY GROUP INC	3.659	2.537	375	58,160	
BOSTON PROPERTIES INC	2.728	1.892	115	17,842	
VORNADO REALTY TRUST	4.38	3.037	73	11,392	
EQUITY RESIDENTIAL	3.684	2.554	170	26,396	
EQUINIX INC	0.858	0.595	423	65,631	
HOST HOTELS & RESORTS INC	11.521	7.989	149	23,173	
KIMCO REALTY CORP	9.359	6.49	123	19,096	
GAMING AND LEISURE PROPTIE	4.129	2.863	126	19,608	
PARK HOTELS & RESORTS INC	7.529	5.221	84	13,049	
INVITATION HOMES INC	7.108	4.929	172	26,715	
VICI PROPERTIES INC	9.497	6.585	194	30,151	
ORION OFFICE REIT INC	0.419	0.419	1	219	
VENTAS INC	4.971	3.447	162	25,172	
IRON MOUNTAIN INC	3.862	2.678	207	32,200	
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	4.186	—	—	—	
SUN COMMUNITIES INC	1.393	0.966	112	17,437	
PROLOGIS INC	8.792	6.097	657	101,804	
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	1.295	0.898	107	16,657	
CAMDEN PROPERTY TRUST	1.393	0.966	102	15,864	
ESSEX PROPERTY TRUST INC	0.777	0.539	138	21,520	
WELLTOWER INC	4.647	3.222	314	48,656	
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	7.359	5.103	97	15,181	
MID-AMERICA APARTMENT COMM	1.457	1.01	137	21,313	
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	2.437	1.69	106	16,497	
NATIONAL RETAIL PROPERTIES	3.983	2.762	117	18,171	
REALTY INCOME CORP	7.855	5.447	299	46,437	
PUBLIC STORAGE	1.376	0.954	260	40,385	
UDR INC	4.275	2.964	115	17,897	
WP CAREY INC	2.664	1.847	106	16,533	
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	5.222	3.621	111	17,354	
DIGITAL REALTY TRUST INC	2.647	1.836	265	41,145	
EXTRA SPACE STORAGE INC	1.53	1.061	152	23,558	
GLADSTONE COMMERCIAL CORP	7.376	5.114	73	11,410	
MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	10.233	7.096	30	4,705	
DOUGLAS EMMETT INC	6.315	4.379	60	9,322	
アメリカ・ドル	□数、金額	162.406	109.841	5,950	922,021
通貨計	銘柄数<比率>	36銘柄	35銘柄		<68.8%>
(カナダ)					
CHOICE PROPERTIES REIT	39.6	28.531	371	41,938	
カナダ・ドル	□数、金額	39.6	28.531	371	41,938
通貨計	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<3.1%>

銘柄	期首		当期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円	
(オーストラリア)					
DEXUS/AU	34.76	25.063	176	18,053	
SCENTRE GROUP	93.92	67.71	218	22,245	
MIRVAC GROUP	80.27	57.864	120	12,280	
GOODMAN GROUP	22.9	16.511	567	57,917	
オーストラリア・ドル	□数、金額	231.85	167.148	1,082	110,496
通貨計	銘柄数<比率>	4銘柄	4銘柄		<8.2%>
(香港)					
LINK REIT	16.8	12.8	446	8,836	
香港・ドル	□数、金額	16.8	12.8	446	8,836
通貨計	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<0.7%>
(シンガポール)					
CAPITALAND ASCENDAS REIT	91.329	65.929	170	19,450	
CAPITALAND INTEGRATED COMMER	156.988	113.288	217	24,872	
シンガポール・ドル	□数、金額	248.317	179.217	387	44,323
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<3.3%>
(イギリス)					
LAND SECURITIES GROUP PLC	20.4	14.172	97	18,841	
SEGRO PLC	20.82	14.469	128	24,815	
TRITAX BIG BOX REIT PLC	77.23	53.643	86	16,798	
イギリス・ポンド	□数、金額	118.45	82.284	312	60,454
通貨計	銘柄数<比率>	3銘柄	3銘柄		<4.5%>
ユーロ (ベルギー)					
COFINIMMO	0.88	0.498	32	5,462	
国小計	□数、金額	0.88	0.498	32	5,462
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<0.4%>
ユーロ (フランス)					
GEICINA SA	2.5	1.428	142	23,784	
国小計	□数、金額	2.5	1.428	142	23,784
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.8%>
ユーロ	□数、金額	3.38	1.926	175	29,246
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<2.2%>
合計	□数、金額	820.803	581.747	—	1,217,317
	銘柄数<比率>	49銘柄	48銘柄		<90.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別		当期末	
		買建額	売建額
外国		百万円	百万円
	DJ US REAL ESTATE（アメリカ）	30	—
	STOXX 600 REAL（ドイツ）	16	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年5月8日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	76,620	5.7
投資証券	1,217,317	90.6
コール・ローン等、その他	49,495	3.7
投資信託財産総額	1,343,433	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.95円、1カナダ・ドル＝112.81円、1オーストラリア・ドル＝102.03円、1香港・ドル＝19.81円、1シンガポール・ドル＝114.35円、1イギリス・ポンド＝193.66円、1ユーロ＝166.56円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（1,329,413千円）の投資信託財産総額（1,343,433千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年5月8日現在

項目	当期末
(A)資産	1,355,055,779円
コール・ローン等	27,256,974
投資信託受益証券（評価額）	76,620,110
投資証券（評価額）	1,217,317,140
未収入金	12,579,500
未収配当金	1,117,541
差入委託証拠金	20,164,514
(B)負債	14,425,537
未払金	13,971,537
未払解約金	454,000
(C)純資産総額（A－B）	1,340,630,242
元本	520,790,664
次期繰越損益金	819,839,578
(D)受益権総口数	520,790,664口
1万口当り基準価額（C/D）	25,742円

* 期首における元本額は762,945,559円、当作成期間中における追加設定元本額は405,005,353円、同解約元本額は647,160,248円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイナミック・アロケーション・ファンド（適格機関投資家専用） 262,008,144円
 先進国REITマザーファンド（適格機関投資家専用） 130,031,865円
 海外リート資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用） 9,489,837円
 ターゲット・リターン（コスト控除後3%）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用） 28,665円
 ターゲット・リターン（コスト控除後5%）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用） 77,007円
 リソなダイナミック・アロケーション・ファンド 7,647,871円
 堅実バランスファンド－ハジメの一步ー 1,314,130円
 DCダイナミック・アロケーション・ファンド 36,580,893円
 ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり） 73,612,252円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は25,742円です。

■損益の状況

当期 自2023年5月9日 至2024年5月8日

項目	当期
(A)配当等収益	71,881,763円
受取配当金	70,622,151
受取利息	565,450
その他収益金	700,526
支払利息	△ 6,364
(B)有価証券売買損益	225,960,930
売買益	363,999,057
売買損	△ 138,038,127
(C)先物取引等損益	651,401
取引益	5,816,813
取引損	△ 5,165,412
(D)その他費用	△ 1,965,161
(E)当期損益金（A+B+C+D）	296,528,933
(F)前期繰越損益金	865,941,150
(G)解約差損益金	△ 865,353,252
(H)追加信託差損益金	522,722,747
(I)合計（E+F+G+H）	819,839,578
次期繰越損益金（I）	819,839,578

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。